

アセスメント票

申請者の現状（基本情報）

記入例

作成日	令和8年8月1日	事業所名	ひょうご相談支援センター	受講者名	研修 太郎
-----	----------	------	--------------	------	-------

1. 概要（支援経過、現状と課題等）

特別支援学校高等部2年生より、就職に向けて春2週間、秋4週間の校外実習に取り組んできた。主な実習先として、キノコ生産工場（きのこの紙巻きと収穫作業）、特別養護老人ホーム（清掃業務）、機械部品工場（簡単な組み立て作業）を経験した。実習に当たっては、高等部進路担当及び就業・生活支援センターの就労支援ワーカーが実習先を定期訪問し、就職に向けての調整を進めてきた。日常の挨拶、身近な大人に困った時にお願いすることができるようになり、また、指示に基づいて一定時間の仕事には取り組むことが出来るようになった。一方で、聴覚刺激に過敏な面があり、耳ふさぎをしてその場を離れしることがあり、また、会う人すべてに挨拶をするなど社会性の面で支障も見られた。高等部3年の夏休みに実施した就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメント（就労アセスメント）の結果も就職は難しいという結果を踏まえ、卒業時点における就職は困難であった。

そこで、相談支援専門員は、これまでの経過について、本人、家族、関係機関より聞き取りをする中で、卒業後は、就労移行支援を受けながら、関係機関が一体的に支援をしていく必要があると判断し、本人及び母親、特別支援学校進路担当、市障害福祉担当ケースワーカー、就業・生活支援センター就労支援ワーカー、就労移行支援事業所サービス管理責任者を招集してサービス等調整会議を開催した。その中で、「就労移行支援事業所」の就労移行支援サービスを利用する中で、概ね、12カ月をめどに、本人の得意な面（簡単なカタカナや漢字、数字が読める力等）を活かしながら、付き添い職員がいなくとも、一定程度（おおむね4時間）一人で仕事ができる力を育てる支援に取り組んでいくこととなった。

2. 利用者の状況

氏名	Aさん ※利用者氏名はAさんとする。	生年月日		年齢	18歳
住所	持家・借家・グループホーム・入所施設・医療機関・その他（ ）			電話番号	
障害または疾患名	自閉症、療育手帳（B2）	障害支援区分	区分3	FAX番号	
家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入（ジェノグラムで記載）					
生活歴 ※受診歴等含む 平成14年7月、3200gで正常出産。1歳半検診で、言葉の遅れ、こだわり等がみられ、市の療育教室に月2回参加。その中で、保健師より医療受診をすすめられ、3歳で自閉症と診断され、その後、月2回のリハビリ（ST）を受ける。年少より、リハビリと並行して保育園へ通う。保育園では加配の保育士が卒園まで配置される。就学相談も踏まえ小学校の特別支援学級に在籍する。高等部からはB特別支援学校へ入学し、徒歩5分のバス停からバスで通学する。	社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等（役割） 				
医療の状況 ※受診科目・頻度・主治医・疾患名・服薬等 特になし。	本人の主訴（意向・希望） 支援を受けながら、働ける力を身につけ、就職できるようになりたい。 水泳が好きなので、卒業したらスイミングに通いたい。できたらスペシャルオリンピックスにも出てみたい。それと、休みの日は、卒業生仲間との同窓会に参加したり、家族と町に出かけて、駅前でゲーム、買い物、デシカメ写真でいろいろなもの撮影したい。				
家族の主訴（意向・希望） 就職出来るようになってほしい。その中で、お金の使い方、一人で通勤できる力をつけてほしい。 先輩がスペシャルオリンピックスに出場して活躍した姿をみるにつけ、本人にとって、余暇を充実して過ごすことも大切だと思うので、得意な水泳を活かして、運動を続けてもらいたい。					

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援（障害福祉サービス、介護保険等）	行動援護	D介護事業所	Fスポーツクラブのプールを利用。	夏休み等の長期休暇中の平日。週に2日、各3時間	
その他の支援					

確認者

福祉 花子

※課題を確認された方のお名前を記載ください↑